

平成 18 年 6 月 14 日

はっする



福井県嶺南振興局若狭健康福祉センター

昨年は若狭管内では4件、福井県内では11件発生！

食中毒多発注意報発令中です！（平成 18 年 6 月 2 日～15 日）

～清潔を保っていますか？すぐ冷却、しっかり加熱していますか？～

予防の基本は・・・

菌をつけない（清潔）

- ☆ 調理の前には必ず石鹸で手を洗う
- ☆ 傷のある手で調理する時は、ゴム手袋をする
- ☆ 調理器具は汚れを落として消毒をする

菌を増やさない（迅速・冷却）

- ☆ 冷蔵庫内は 10 度以下を保つ
- ☆ 自然解凍は避ける
- ☆ 料理中の物や残り物は放置しない

菌を殺す（加熱）

- ☆ 食品はしっかり加熱。加熱状態は中まで確認
- ☆ 調理済みのレトルト食品や冷凍品も、よく加熱
- ☆ 残り物を温めるときも十分に加熱

◎食中毒ミニ知識◎

夏場は特に腸炎ビブリオに要注意！

腸炎ビブリオ

海水中に存在し、海水の温度が高くなる夏季に急速に増殖して魚介類に付着します。

- ◆ 増殖速度が速く、短時間で増殖
- ◆ 塩水を好むが、真水に弱い
- ◆ 熱に極めて弱い（100℃では数分で死滅し 4℃以下ではほとんど増殖しない）

潜伏期間：2 時間～2 日

症状：下痢、激しい腹痛、発熱、嘔吐等

感染ルート：生の魚介類

☆感染症トピックス☆

～咽頭結膜熱（プール熱）流行中です～

県内で、咽頭結膜熱（プール熱）の流行が見られます。咽頭結膜熱（プール熱）は、アデノウイルスにより引き起こされる感染症です。発生は年間を通じて見られますが、特にこれからの季節、プールを介して感染、流行することが多いため、気をつけましょう。

予防のポイントとしては、日ごろからの手洗い・うがいの徹底、症状がある人との密接な接触を避けること、タオルの共用はしないこと、プール後はシャワー、洗眼、うがいを徹底することなどです。

主な症状は 38～39℃の発熱、咽頭痛、結膜炎などで通常 1～2 週間で治りますが、症状が強い場合や抵抗力が弱く重症化しやすい小さいお子さんは早めに受診しましょう。



○ 編集後記 ○

いよいよ蒸し暑くなってきましたね。
この時期は、食中毒が増える時期なので、施設や学校ではもちろんですが、ご家庭でも一人ひとりが普段から気をつけるようにしたいですね。（第 27 号作成者：清水）

福井県感染症発生動向調査速報【5 月】

（H18.5.1～6.4）

- ・ 3 類：腸管出血性大腸菌感染症
（O121：1 件、O157：1 件）
- ・ 4 類：レジオネラ菌（1 件） ※ 管内発生なし

発信者 若狭健康福祉センター

健康増進課 担当 いずみ

TEL : 0770-52-1300

FAX : 0770-52-1058

MAIL : t-izumi-j8@pref.fukui.lg.jp

○ ご意見・ご感想お待ちしております！